

2017（平成29）年度事業報告

（自・2017年4月1日 ～ 至・2018年3月31日）

2017（平成29）年度は公益財団法人として6年間を経過した。公益事業の充実と財政の安定化を図りつつ社会福祉を担う人びとの資質の向上、啓発、助成・奨学金支給等各事業は順調に展開することができた。

事業を推進するにあたって、以下を課題と踏まえつつ実施した。

- ① 海外研修の方向性
 - ② 高齢者と児童・子どもへの対応
 - ③ 自然災害による地域対応
 - ④ 財務の強化と安定化
 - ⑤ ホームページを中心とした情報の発信
- などである。

公益事業の概要

「社会福祉の担い手の育成及び福祉活動振興のための支援事業」を目的とし、その成熟をめざし直接、間接的に支援を行ってきた。

福祉に携わる人々の資質の向上のため海外研修、また国内における社会福祉情報提供のための講座、講習、セミナー、施設見学会、手話教室等を開催した。また福祉をテーマとした「エッセイ」の公募等で広く福祉社会への啓発を計ってきた。

また、社会福祉施設は規模を問わず新設されているが、財政規模によっては活動展開が捗りにくい施設も数多くみられ助成の要請は増加しているので資金助成をしてきた。

高度化する福祉社会のリーダーとなるべき人材を育成することは将来を見据えた福祉社会への支援である。そのための具体的な支援としてペイン記念奨学金を給付、開始4年目となった。

（公1） 公益事業

ア. 海外研修事業

海外での社会福祉の実態を学び、自らの実践を振り返る機会とし、より優れた実践の担い手として成長し、日常業務に生かしていく「人材」となることをテーマとしての研修を実施してきた。

2017年度は、特別養護老人ホームの施設長など管理的立場にある者の経営訴求にこたえ「世界の高齢者のケアを学ぶーアメリカ・ポートランド市における研修」を企画実施した。

ポートランドは高齢者が最後まで自立した生活をするにはどうしたらよいかを考え続け、新しい生活スタイルをつくりだした地であって、その地の州立大学における研修の成果は今後とも生かされ参加者のスキルアップにつながることを期待している。

今年度は、財務的な余裕から参加者の枠を16人とし、提供する研修機会を広げることができた。

【研修先】アメリカ・オレゴン州 ポートランド州立大学及び市内しない高齢者施設5ヶ所

実施期間 2017年9月24日～9月30日

参加者 公募による 16人 財団委員3人

海外研修企画委員 遠藤久江、高原敏夫、助川征雄、松井直樹、

公募期間 2017年7月15日～

委員会開催 4/26 (2017年度研修計画) 7/19 (選考委員会 16人選考) 8/19 (オリエンテーション)、8/20 (成果と反省、報告書作成の検討) 10/11 研修総括 1/17、2018年度研修 (ポートランド、シンガポール2か所を予定する。)

2018/2/9 スケジュール作成

研修の成果として「アメリカ・ポートランド研修報告書」を200部発行配布した。

イ 講座講習等開催事業

社会福祉の担い手に、新しい知識、技術等を知らせたい。

特に個人では収集できない情報などを提供して将来の課題を探り、社会福祉の充実に寄与、支援するため各種事業を開催した。

2017年度開催事業

	事業名	内容	公募期間	実施日	場所	参加人数
1	音声デジ ー制作講座 基礎編 全3回	印刷物の読書に困難な障害のある人のためにデジタル化し、音声での読書を支援する。	～6/14	6/22, 22, 23	愛恵ビル	13人
2	音訳講座 基礎編 1, 2	デジタル化による新しい方法で発達、知的障がい児者高齢者など紙の書籍で読書するには困難のある方々に有用な読書支援		2/21、3/7 3/28		30人
3	マルチメ ディア・デ ィー制作講 習会			10/19, 20		10人
4	施設見学①	「全ての人に愛をもって仕える」キリスト教の隣人愛の精神のもと地域に根差した運営をしてきた。徹底した個別ケアへの取り組みから「介護甲子園」で最優秀賞を受賞。 利用者の行きたかった所へ出かけるなど利用者の望み	4/20～ 5/20	6月8日	桜町 聖ヨハネ ホーム	18人

		を実現するとともに、スタッフのモチベーション・アップにもつながっている。その介護方針、理念などを学ぶ。				
3	施設見学②	「住み慣れた地域に障がい者が働く場と生活する場をつくりたい」という願いの実現を目指してきた。入所、日中生活介護 就労 B 型施設理念に添ったしっかりした経営、地域社会との共生、ライフステージに応じたサービスを学ぶ。	9/10～ 10/10	10月13日	就労支援施設 ウイズユー	11人
4	セミナー (講演会)	川越 厚 在宅におけるみとり		6月1日 11月14日	東京・北区 北とぴあ	90人 90人
	手話教室	手話教室 手話通訳者へのステップ講習会 【手話教室講師、上級クラス在籍者により財団主催の講演会等の通訳】		4～3月 20回/年	愛恵ビル	参加 65人

講座講習企画委員 田中弘、新田和子、上田健、伊藤美智子

委員会開催 6/8、6/30、7/2、7/26、7/30、8/20、8/25、8/27、9/12、10/1、10/22、11/9
12/9、12/17、1/16、2/6、3/6、3/9

川越講演会 DVD制作

ウ 愛恵エッセイ賞（懸賞論文）募集事業

豊かな福祉社会を創るため、国民各層から助け合い、支え合う体験、経験のエッセイを公募、福祉意識の涵養のため公募した。

公募期間 2017年9月15日～11月13日

応募数 学生 111、専門職10、一般12 計133

選考委員会 2018年1月23日

選考委員 八尾 勝、今野義美、河合裕志、坂上三男

表彰式 2018年3月3日 於・銀座教会福音会センター

・福祉講演会 「こころ 燃やされる」 小倉義明（アジアキリスト教教育基金理事長）

表彰者

区分	最優秀	優秀	佳作	奨励
学生	安田美結	上之段翼 岡本あすか	森山ひかる田島瑞生	尾島誠

		水島恵理那 内田桃代	広瀬花音 林萌花	
専門職	堀江敦子	相澤美智子	中野雄介 平田真基	—
一般	丸山有加里	近藤和子 矢矧秀司	一柳博之 召田俊雄 井開麻衣	—

表彰作品を600部 制作 配布。

工 社会福祉育成活動推進事業

① 助成金給付

社会福祉法人及び特定非営利法人等が実施している事業のうち比較的小規模、貧困救済、子供に係る事業、先駆的事业の挑戦者、緊急性のあると判断されるものに助成をした。

公募期間 2017年7月15日～9月20日

選考委員会 2017年10月19日

応募件数 99件 助成件数 77件

選考委員 小島敏則(東京都社会福祉協議会)、高原敏夫(社会福祉法人マザアス理事長)
関道子(多摩同協会)

公募期間を7月～9月において 周知期間は例年と同じく行った。

② ペイン記念奨学金給付

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的として給付型奨学金である。

対象 指定16大学 福祉系大学院生

公募期間 2017年4月15日～5月15日

応募者数 6人

必要書類 申請書、成績証明書、指導教員推薦書、本人レポート(自筆のもの)

選考基準 1次 学業成績、指導者推薦書内容、本人レポートによる順位付け

2次 面接勉学の意欲、研究分野及びテーマの口述、自己表現力

選考委員会 1次 2017年6月3日

2次 2017年6月14日(6人の面接)

決定 3人

神奈川県立保健福祉大学院1年	立川祥恵	2年給付
同上	韓 ソヒ	2年給付
立教大学院 2年	渡辺一生	1年給付*

*大学院修了

選考委員 遠藤久江、河合裕志、李 善恵(関西学院大学)

柴田謙治(金城大学)、都築光一(東北福祉大学)

委員会開催 5/26(選考)、6/3(面接) 1/25(次年度公募要領、推薦大学の見直し)

2018 1/19、/3/24、3/27(受給者報告会)、

受給者報告会 出席者 林秀和、楊夏麗、渡辺一生(以上3人終了)

立川祥恵、韓ソヒ

収益事業

(収1) 施設貸与事業

「愛恵ビル」は財団公益事業推進の拠点場所として使用されるほかは、所要スペースを一般に貸与している。

2017年度の 事業収入は 合計 7,212,273 円

テナント 株式会社 ESS 3室 社団法人 日本エアマンシップ・操縦士養成
機構 1室 良公監査法人1室

収益の50%を公益事業に振り替えた、

法人運営に関する事項

1. 総務事項

財団設立年月日 1998年10月1日

基本財産 (2018年3月31日現在)

投資有価証券 2,681,456,760 円 (時価)

土地 100,000,000 円

建物他 44,355,726 円

2. 役員 2018年3月31日現在の役員 理事7人 監事2人

代表理事 理事長 高原 敏夫 (非常勤) 業務執行理事 (常務理事・常勤) 杉浦孝夫
理事(非常勤) 遠藤久江、河合裕志、昆百合子、田中弘 高原敏夫、西崎攻司

監事 (非常勤) 新庄正 廣田伊志子

濱野一郎 前理事長が11月15日死去、11月28日 高原敏夫現理事長選出

評議員 2018年3月31日現在の評議員 (非常勤) 7人

上田 健、岸川洋治、坂上三男、坂本正路、塚越敏夫、新田和子、野原健治、

3. 事務局

常務理事 (事務局長) 1人 職員 2人 久保悦子、園田久遠 (4/1採用)

4. 届出、変更、登記 6月28日 評議員就任、7月3日理事退任、10月12日評議員退任 1月26日 理事長退就任変更 3月10日 評議員辞任

5. 会議開催状況

評議員会	2017年6月28日	2017年度 定時評議員会 2016年度 事業報告・収支決算承認 役員報酬規程変更 評議員1人選出	
	2018年3月27日	2017年度 臨時評議員会	

		2018年度事業計画案 承認 収支予算案 承認	
理事会	2017年5月23日	2017年度 第1回定時理事会 2016年度 事業報告(案)承認 決算報告(案)承認 監査報告の件	
	9月21日	2017年度 第1回臨時理事会 業務報告、財産運用(定期預 金償還と再投資ヒアリング、奨学 金、海外研修決定報告 非常勤役員報酬限度額の規定の件	
理事会	2017年 11月28日	第2回臨時理事会 濱野理事長死去に伴う高原理事長選定 日本地域福祉施設協議会協賛の件	
理事会	2018年1月18日	第3回臨時理事会 2018年度事業計画検討 同 収支予算計画検討 臨時評議員会開催日の決定	
理事会	2018年3月9日	2017年度第2回定時理事会 2018年度事業計画(案)承認 2018年度収支予算(案)承認 2018年度資金、運用計画の承認	

財産運用

財団の運営はすべて基本財産運用益によっている。

2017年度の運用益は予算52,500千円を計上したが、実績は62,000千円となった。
約10,000千円の増額は為替変動等により予算金利を上回り増額されたものである。

業務改善

ホームページの刷新、財団案内パンフレット更新、「愛恵だより」発行により情報伝達の機能の向上
を目指し、事業の内容、実行について公開してきた。

事業報告の付属明細

2017年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規
定する付属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以上